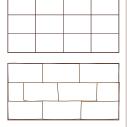
貼る前に

- ●貼る壁面の寸法を測り、必要な紙の枚数を確認します。 貼り方のデザインを考え、窓や扉の廻り等は、紙の無駄が 出ないように、割り付けをよく考えてください。
- **★**紙の周囲の4辺は直線ではありません。 自然な繊維の流れが出たもので、「耳」と 呼ばれます。耳を切り落とし、形をそろえ て貼る方法もありますが、手漉きの表情を 活かすには耳付きのまま使うのがおすすめ。 目地もピッタリと合わせようとしないで、 アバウトなぐらいの方が趣があります。



- ●紙の色目などに差がある場合は、 貼る前に仮並べを行い、全体のバランスを確認します。
- ★紙は1枚1枚の表情が異なり、サイズや形、色がそろっていません。 手作りの風合いを活かし、壁のデザインを楽しみましょう。
- ●貼る面の素材や状況を確認し、下地処理を行います。 下地処理は事前に行い、充分に乾燥させて下さい。
- ★ビニールクロスの場合

手間はかかりますが、クロスをはがしてから貼るのが望ましいです。 はがして裏打ちの紙がきれいに残ったら、その上に貼れます。 裏打ちの紙が部分的にはがれたり、△□ができてしまったら、 パテ埋めか下貼りをします。

- ★既存の仕上げ (塗装やクロス) の上に直接貼る場合 汚れをきれいにふきとってください。
- ★モルタルや合板下地の場合 アクが出る可能性がある為、シーラー材を塗るか下貼りをします。
- ★石こうボードの場合 ボードの継ぎ目に細く切った紙を貼るかパテ埋めをします。 ビス穴がある場合は、パテで埋めます。 塗ったパテの凸凹は紙ヤスリである程度平滑にします。
- ●コンセントやスイッチのプレート類を取りはずします。
- ★はずしたプレートにも、紙張りをすると統一感が出ます。 雷気配線はいじらず、プレートのみはずしてください。

貼り方の手順

1. 紙をカット

事前に考えておいた割り付けを元に、紙をカットします。 カットの際は、カッターを使わずに 水切り (くいさき) するのがおすすめ



でんぷん粉又は小麦粉を水で煮て糊をつくります。→糊の作り方は裏面参照 (既製品を使う場合は不要)

糊を茶碗一杯程度容器に出し、塗りやすい固さにのばします。 強度を出したい場合は木工ボンドを少しだけまぜてください。

3. 紙を湿らす

霧吹きかハケを使い、紙を全体的に湿らせておきます。

4. 紙に糊を塗る

紙の四周にのみ糊を塗ります。「袋貼り」という方法です。 紙の全面に糊を塗るのでもかまいません。 糊を塗った後は、5分程度放置してなじませます。

水切り(くいさき)というのは、和紙を水で濡らして ふやかしてから引き裂く切断の仕方。 自然に繊維がほぐれたような、やわらかい切り□とな

るため、手漉き紙の風合いになじみます。

糊は冷えると白くゼリー状にかたまることがあります。 使う分だけ容器に出したら、刷手の先でつぶすように 練り直すとだんだん柔らかくなり透明感も出て来ます。

糊の塗り残しがないように、 光にあて横から見て確認してください。

> 「袋貼り」とは、紙の周囲 1,2cm くらいに糊をつけて貼ること。 全面的に糊を塗るよりも、袋貼りの方が、糊のついていない部分 が壁から浮いた状態になるため、和紙本来のふんわりとした柔ら かな仕上りになります。

5. 壁に貼る

下から横に、 隣の紙に重ねて貼っていきます。(重ねシロは 1~1.5 センチ程度)

6. 空気を抜く

最後に、貼った紙の上をなで刷毛でやさしくならし、空気を抜きます。



